



◆ ◆ ◆ ◆ ◆

●勤務医に関する話題や投稿などで構成するコーナーです。勤務医生活の雑感、あるいは意見をこの欄にお寄せください。

●投稿要領…700字程度、名古屋市昭和区妙見町19-2、愛知県保険医協会「勤務医コーナー」係まで。薄謝進呈致します。

# 『〇活』について

名東区 山田 一美

最近「〇活」という略語をよく見聞きする。「〇活」の最初は六十年以上前の「部活」であった。最初は何かのことかわからなかった記憶がある。スポーツをはじめ、クラブ活動で誰でも一番馴染み深い「〇活」である。

昨年「ラン活」をはじめて知ったが、新入生のラン

ドセル購入活動のことであった。今春孫四人が入学したが、我家の「ラン活」は静かに終わった。終るや否やもうTVで来年のランドセルセルのCMが流れていた。今や十万円以上もするランドセルが売れるというから驚く。親や祖父母の負担が大きいうちに思う。少子化なのでそれもメー

カーの狙い目なのかもしれない。

私の親類のいる地方の自治体では、布製の昔ながらの肩掛けカバンを全員に支給しているという。「ラン活」不要で家計に負担のないよい試みと感心した。

「就活」「婚活」については年々マスコミで大きく取り上げられている。大学生の就職は経団連の意向もあって、年度により変化を来しているようで大変であろう。勉学にどれ程集中できているか疑問に思わざるを得ない。

「婚活」は結婚願望のある

人も晩婚化しており、希望しない人もそこにいる現状では、益々我国の少子高齢化が進み、今後の国のあり方そのものが問題となろう。当事者の問題なので親や困がどうこうできる事ではなく厄介である。

最後に「終活」であるが目下(古希をすぎて三年になる)あまり考えていない。マスコミが年金や二千万円問題など連日のように取り上げているので少しは気になるが、まだ現役で働いているので先延ばしでいいのかなと思ってもみる。

百歳を超えた父が施設に入所しているが、認知症も軽く規則正しい生活を送っているのを見ると、自分自身あの年まで生きられるとはとても想像できない。「終活」って何だろうと考えたとき、今日この頃である。